

## 単元について

### ○ 単元観

本単元は小学校学習指導要領解説生活編(7)「動植物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする」を受け、児童一人一人が身の回りの生き物と触れ合う活動を中心に設定したものである。

本単元では、虫の体のつくりや餌などの特徴、虫も生命をもっていることに気付き、生き物を大切にすることを養うことをねらいとしている。特別支援学級の児童にどこにどんな虫がいるのか、虫の飼育の仕方、虫の特徴を紹介することを目的とし、身近な虫を飼育し、虫の特徴を虫マップにまとめる活動を行う。身近な虫を飼育することで、虫の体のつくりや餌などの特徴、虫も生命をもっていることに気付き、生き物を大切にすることを養うことができると考える。生活科の学習だけに留まらず、普段の生活においてもその他の生き物にも興味を持ち、飼育してみようとする意欲をもたせることもねらいとしている。

### ○ 児童観

本校は山や畑が身近にあり、日常的にセミやバッタなど多くの虫を児童が目にする機会が多い。本学級の児童も虫を見付けると大騒ぎをしながらも観察したり、嬉々として捕まえようとしていたりしている。1学期に行った夏の虫見付けでは虫をどうしたら捕まえやすいかなど思考する児童もいた。アンケートでは、「虫や動物が好きである。興味がある。」と答えた児童は88%おり、虫や生き物への興味・関心は高い。しかし、「虫や生き物の世話の仕方が分かる。」と答えた児童は24%、「虫がいる場所が分かる。」と答えた児童は36%と非常に少ない。また、アサガオやサツマイモなど植物を育てた経験はあるが、継続的に虫の世話をしたことのある児童はほとんどいない。虫に興味・関心はあるが触れないで眺めているだけの児童も数名おり、生き物と触れ合う体験が少ないことが伺える。1学期の虫見付けでは、虫を無造作に手に握りしめて潰してしまったり、捕まえても世話をせずそのままにしてしまったりということがあった。このように生き物の命を大切に、継続的に世話をしようとする児童は少ない。

### ○ 指導観

課題設定の場では、「どこにどんな虫がいるのか知りたい。」「色々な虫を飼育してみたい。」といった児童の願いを大切に、課題を設定していきたい。そのために、単元の導入前に生活科の他の単元でも学級園や校庭へ意図的に連れて行く機会を増やし、虫などの生き物に繰り返し出会う体験をさせ、虫に対しての興味関心を高めておく。また、本学級は特別支援学級の児童の在籍がないため交流が少ない。単元導入前の、特別支援学級の児童と一緒にサツマイモ畑で草抜きや水やりなどを行い、少しずつ関わりを増やしていく。単元導入時に課題設定の際、特別支援学級の児童も虫に対して、同じ願いをもっていることを知り、自分達の学習が特別支援学級の児童の願いに役立つことに気付かせ、学習意欲を高めていく。

情報収集の場では、虫を捕まえた場所に繰り返し出向き、自分の飼育ハウスと捕まえた場所を比較することで、虫のよりすみやすい環境について考え、飼育ハウスを工夫する場を設ける。

整理・分析の場では、虫ごとに色の違うシールで生息している場所を虫マップに表し、虫によってすみかが違うことに気付かせたい。作成した虫マップは常時掲示し、飼育への意欲の継続を図るとともに、体のつくりや動きなどの虫の様々な特徴に気付けるようにしていきたい。

振り返りでは、班での飼育活動を通して自分の成長と友達によさに気付かせる。さらに、虫にも命があることに気付かせ、虫以外の生き物にも興味をもたせ、今後の学習に生かしていきたい。

## 単元の目標及び内容について

- 身の回りにいる生き物に関心をもち、それらを探して捕まえたり、それらの餌やすみかを意識して生き物を大切に飼育したりしようとする。 **【生活科への関心・意欲・態度】**
- 虫などの生き物が育つ場所について考えながら探したり、生き物の餌やすみかについて調べたり、工夫して飼育したりして、それをすなおに表現できる。 **【活動や体験についての思考・表現】**
- 虫の体のつくりや動き、餌といった生き物の特徴や、生き物の育つ場所に気付くとともに、生き物と自分との関わりや自分自身の成長ひいては友達のよさに気付くことができる。 **【身近な環境や自分についての気付き】**

## 単元の評価規準

生活科への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
・身の回りにいる生き物に関心を持ち、それらを探して捕まえたり、その餌やすみかを意識して生き物を大切に飼育したりしている。	・虫などの生き物が育つ場所について考えながら探したり、生き物の餌やすみかについて調べたり、工夫して飼育したりして、それをすなおに表現している。	・虫にも生命があることに気が付いている。 ・虫の体のつくりや動き、餌といった生き物の特徴や、生き物の育つ場所に気付くとともに、生き物と自分との関わりや自分自身の成長と友達のよさに気付いている。

## 単元で育成したい資質・能力

	A	B
<b>【主体性】</b>	・身の回りにいる虫に関心をもち、それらを工夫して探したり捕まえたり、大切に飼育したりするなど、虫に親しみをもっている。	・身の回りにいる虫に関心をもち、それらを探して捕まえたり、育てたりする中で、虫に親しみをもっている。
<b>【思考力】</b>	・虫がすんでいる場所とすんでいない場所を比べ、虫を飼うにはどういう飼育方法が適しているかを本で調べたり、考えたりしている。 ・虫の特徴など気付いたことや調べたことを虫マップに工夫しながら表現している。	・虫がすんでいる場所とすんでいない場所を比べ、虫を飼うにはどういう飼育方法が適しているかを考えている。 ・虫の特徴など気付いたことを虫マップに表現している。
<b>【自己理解】</b>	・虫を飼育することを通して、生命の大切さや生き物と関わることの楽しさに気付き、虫以外の生き物にも目を向けようとしている。 ・飼育を通して、自分自身や友達の成長やよさに気付いている。	・虫を飼育することを通して、生き物にも生命があることや、生き物と関わることの楽しさに気付いている。 ・飼育を通して、自分自身や友達のよさに気付いている。

## 指導と評価の計画

全 12 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	気	評価規準	評価方法
		<b>生活科</b> ○「きれいにさいてね③」学級園でサツマイモの世話をする際に、畑にいる虫にも目を向け、興味をもつ。					
一	1	<b>課題の設定(1)</b> ○夏の虫を想起し、秋の虫に興味をもち、学習の見通しを立てる。 ・特別支援学級の児童から来た手紙をもとに、虫のすみかや虫の飼い方を虫マップにまとめ、虫を飼育・観察し、特別支援学級の児童へ紹介するという課題を設定する。	○			・身近な虫に興味をもち、どこにどんな虫がいるのかもっと知りたいという意欲をもって学習計画を立てようとしている。	行動観察 発言
	2 3	<b>情報の収集①(2)</b> ○どこにどんな虫がいるか探す。 ・海田南小学校の畑や校庭、花壇など、どこにどんな虫がいるか既習したことや生活経験から予想して、探す。(カナヘビ・ダンゴムシ・アリ・バッタ・コオロギ・カマキリ等)	○			・身近な虫に興味をもち、どういった場所に虫がいるか考えながら意欲的に虫を探そうとしている。	行動観察 発言
二	4	<b>整理・分析①(1)</b> ○調べたこと、発見したことを虫マップに整理する。 ・秋の海田南小学校には、どこにどんな虫がいるのかを発表し、すみかについて虫マップに整理する。 ・虫マップに整理したことから、虫によってそれぞれすみかが違うことに気付き、それぞれにあったすみかを考える。 <b>【本時】</b>		○		・虫マップを作り、虫によってすみかが違うことに気付き、なぜ違うか考えている。	発言 行動観察 プリント
	5 6	<b>情報の収集②(3)</b> ○飼育したい虫について情報収集し、捕まえる。 ・飼育したい虫を決め、すみかや餌について図鑑で調べる。 ・飼育ハウスのすみかを整え、虫を捕まえる。	○			・自分の飼育したい虫について意欲的に情報を集め、飼育ハウスを作っている。	行動観察 飼育ハウス
	7	○飼育活動を通して虫の観察をする。 ・飼育を通して虫を観察し、虫の特徴(体のつくり・動き・すみかの様子・餌の種類)など気付いたことをカードに記録し、虫マップに書き加える。			○	・虫の体の作りや動きといった特徴に気付き、プリントに自分なりに表している。	プリント 発言

虫の世話・気付いたことを虫マップに書き込む(常時活動)

		<b>常時掲示</b> ○虫マップを常時掲示し、気付きを表現する。 ・虫について観点別（体のつくり・動き・すみかの様子・餌の種類）に気付いたことを付箋にかき表し、虫マップに加える。					
二	8	<b>整理・分析②（１）</b> ○虫マップを完成させる。 ・付箋を活用しながら、虫マップに観察したことをかき加える。	虫の世話・気付いたことを虫マップに書き込む（常時活動）		○	・虫マップの付箋を観点別に並べ替え、特別支援学級の児童に、伝えたい内容を整理する。	発言 虫マップ
	9	<b>まとめ・創造・表現（３）</b> ○特別支援学級の児童に虫マップを紹介する準備をする。 ・どのような方法や内容で紹介するかグループごとに考える。（ペープサート・クイズ・身体表現など）			○	・自分が飼育した虫の特徴を伝えるために、紹介する方法を考えている。	行動観察 発言 作品
	10	○他のグループに自分の調べた虫を紹介する。 ・虫マップを活用し、学級内で自分たちのグループが飼育した虫の特徴を紹介し、アドバイスし合い、お互いのよさに気付く。			○	・友達の発表のよいところに気付いている。	発言 ワークシート
	11	○自分たちの虫について特別支援学級の児童に紹介する。 ・虫マップを活用し、自分たちの飼育した虫の特徴を特別支援学級の児童に紹介する。			○	・虫の特徴をすなおに表現している。	発言 行動観察 プリント
三	12	<b>振り返り（１）</b> <b>学びのモニタリング</b> ○虫との関わりで自らの学びや成長を振り返る。 ・自分自身の虫との関わり方や成長を振り返るとともに、友達のよさや虫の生命の大切さについて気付く。			○	・自分自身や友達の虫とのかかわり方を振り返り、これからの生活に生かそうとしている。	発言 ワークシート

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

○虫によってすみかが違うことに気付き、なぜ違うのか考えることができる。

### (2) 本時の評価規準

○虫によってすみかが違うことに気付き、なぜ違うのか考えている。

【活動や体験についての思考・表現】

### (3) 本時の学習展開（4時間目／全12時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時の振り返り  2 本時の学習課題を確認する。  めあて		
むしマップをまとめて、じぶんのかいたいむしはどこにいるか、かんがえよう。		
<b>本時のゴールの見通し</b>		
A：どこにどんな虫がいるかをまとめ、虫によってすみかが違うことに気付き、なぜ違うのか虫を見つけた場所や生活経験と関連付けて、考えることができる。 B：どこにどんな虫がいるかをまとめ、虫によってすみかが違うことに気付き、なぜ違うのか考えることができる。		
3 全体で交流し、虫マップを作り、気付きを発表する。 ○どこにどんな虫がいたのか発表しましょう。 ・草の上にバッタがいました。 ・畑の草と草の間にバッタがいました。 ・コンクリートの塀の下にダンゴムシがいました。 ・塀に、カナヘビがいました。 ・アリはコンクリートや花壇にもいました。 ・カマキリは畑にいました。  ○虫マップをみて何か気付いたことはありますか。 ・畑にはたくさん虫がいました。 ・虫によっている場所が違います。	◇「畑にいました。」と簡単に伝えるのではなく、「畑の草と草の間にいました。」など、詳しく説明するよう促す。 ◇虫別にシールの色を決め、どの虫がどこにいたか視覚的に捉えやすくする。  ◇虫によってすみかが違うことに気付かない場合は、バッタが多くいた場所とダンゴ虫が多くいた場所の特徴の違いをとりあげ、虫によってすみかが違うことに気付かせる。	
4 どうして虫によっている場所が違うのか班で考える。 ○どうして虫によっている場所が違うのでしょうか。班で考えましょ	◇見つけた全ての虫を対象にするのではなく、児童に違いが分かりやすいバッタとダンゴムシの2つに焦点を当てて思考させる。	

<p>う。</p> <p>□思考の場の工夫 <b>関連付け</b> 虫マップから、場所の特徴とそこに住んでいる理由を関連付けて考えている。</p> <p>(バッタ) ・草と体の色が似ているから隠れることができるからです。 ・草を食べるからだと思います。 ・草がお布団なのだと思います。</p> <p>(ダンゴムシ) ・足が遅いから隠れています。 ・暗い所が好きだからです。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇発表はバッタ,ダンゴムシを分けて発表させる。 ◆虫や畑,中庭の写真を見せ,その場をイメージしやすくする。</p> <p>◇学習課題を振り返らせる。 ◆書き方のモデルを提示し,文が構成しにくい児童の手立てとする。</p>	<p>◎虫によってすみかが違うことに気付き,なぜ違うのか考えている。 〔体験についての思考・表現〕(ワークシート・発言)</p>
<p>★めざす児童の姿 ぼくは,バッタをさがしにはたけにいきます。 りゅうは,はたけにはえさになるくさがあるからです。</p>		
<p>6 次時への見通しをもつ。</p>	<p>◇虫かごに入れられたバッタを見せ,次時では,どのようなすみかを作れば飼育できるかを考えていくことを伝える。</p>	

(4) 板書計画

④ むしマップをまとめて,じぶんのかいたいむしがどこにいるか,かんがえよう。

むしマップ

《きづき》

<p>「バッタ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くさのおおいところ</li> <li>・はたけにおおい</li> </ul>	<p>「ダンゴムシ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートのおく</li> <li>・かれはのしたにおおい</li> <li>・くらいところにいる</li> </ul>
---	--

↓

**【むしによってすんでいるところがちがう】**

《りゅう》

「バッタ」・・・くさのおおいところ

- ・くさからだかにたいるだからかくれることができる。
- ・くさがえさだから
- ・くさがおふとんになる。

「だんごむし」・・・かれはのした

- ・かれはがごはんだから。
- ・だんごむしはにげるのがおそいからかくれている。
- ・くらいところがすきだから。

⑤ バッタ

ぼくは,(バッタ)さがしに(はたけ)にいきます。

(りゅう)は,(えさになるくさがいっぱいある)からです。

# いきものとなかよし

## ～ほくたち、わたしたちむしはかせ♪～



1 ねん( )くみ( )ばん なまえ( )

1 たんぼぼさんに むしについてはっぴょうするために すすんで むしをさがした。

<b>5</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
とても	できた	まあまあ	あまり	まったく
できた				

2 むしのおせわを すすんでした。

<b>5</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
とても	できた	まあまあ	あまり	まったく
できた				

3 どんなおせわを しましたか かきましよう。

あなたがかった むしの なまえ ( )

すみか・・・
えさ・・・
きをつけること・・・

4 どこに どんなむしがいるか かきましよう。

( ) は ( ) におおきます。
わけは,

5 べんきょうをして おもったこと きづいたこと


6 がんばっていたともだちは だれですか。りゅうもかきましょう。

(                    ) さん
(りゅう)

7 これから やってみたいこと


8 やってみたい わけ




